

第三期山口県医療費適正化計画の実績評価の追記（令和8年2月）

第三期山口県医療費適正化計画の実績に関する評価については、評価時点である令和6年12月に確定していた令和4年度実績を用いて実施したところ。

このたび、医療費や特定健康診査実施率などについて令和5年度実績が公表されたため、検証した結果、実績の再評価を行う必要はないと認められた。

なお、各図表に記載のページ数は、実績評価におけるページ数である

1 医療費の動向

（1）全国の医療費

【図表1－1】国民医療費と国民医療費の国内総生産（GDP）に対する比率の推移（2p）

出典 厚生労働省 国民医療費の概況

【図表1－2】一人当たり国民医療費の推移（3p）

出典 厚生労働省 国民医療費の概況

(2) 本県の医療費

【図表1-4】 県の医療費の推移(4p)

出典 厚生労働省 国民医療費の概況

2 目標・施策の進捗状況等

(1) 特定健康診査の実施率

2023(令和5)年度実績で、対象者57.1万人に対し受診者は30.4万人、実施率は53.4%であり、目標の70%は達成できなかった。

【図表2-1】 特定健康診査の山口県平均実施率の推移(9p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

【図表 2 - 2】 県内平均と全国平均の実施率の比較 (10 p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

(2) 特定保健指導の実施率

2023(令和5)年度実績で、対象者約48.9千人に対し受診者は約12千人、実施率は約24.6%となっており、目標の45%は達成できなかった。

【図表 2 - 8】 特定保健指導の山口県平均実施率の推移 (13 p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

【図表 2－9】 県内平均と全国平均の実施率の比較 (14 p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

(3) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率

2023(令和5)年度実績で、2008(平成20)年度と比べて15.4%減少となっており、目標の25%は達成できなかった。

【図表 2－15】 メタボリックシンドロームの該当者及びその予備群の減少率 (17 p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

本県のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合については、2023(令和5)年度実績で、平成20年度と比べて3.3%増加している。

【図表2-16】山口県のメタボリックシンドロームの該当者及びその予備群の状況(18p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

【図表2-17】本県と全国の該当者及び予備群の割合の比較(18p)

出典 厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ

3 医療費推計と実績の比較・分析

2023(令和5)年度の医療費(実績見込み)は5,900億円となっており、第三期山口県医療費適正化計画との差異は、60億円の減少であった。

【図表3-1】医療費推計と実績の差異(38p)

年度	①推計値 (適正化前)	②推計値 (適正化後)	③実績値	④推計値と実績値の差 (③-②)
平成30年度	5,618億円	5,556億円	5,602億円	46億円
令和元年度	5,703億円	5,641億円	5,684億円	43億円
令和2年度	5,790億円	5,726億円	5,467億円	▲259億円
令和3年度	5,868億円	5,803億円	5,606億円	▲197億円
令和4年度	5,947億円	5,881億円	5,779億円	▲102億円
令和5年度	6,027億円	5,960億円	5,900億円	▲60億円

出典 厚生労働省 国民医療費